

2014/1

No.16



医療法人 成精会

刈谷病院

Harmo-net
ハへモネット

新年のご挨拶



「明けましておめでとうございます」

日本人の多くの方々がお正月の挨拶ではないでしょうか。この言葉は、日本人が心を大切にしてきたからこそ定着したのではないかと思います。「心遣い」「心尽くし」「心置き」「心配り」「心砕き」「心掛け」「心意気」・・・等、心と組み合わせられた言葉が多いのは日本語の特徴であり、日本の文化そのものと言っても良いのではないのでしょうか。成精会も理念を初め様々な場面で「こころ」という言葉を大切に使用しています。また、新しい年が来る事に対し「どのようめでたいのですか?」などと聞く人はいないでしょうか。「何がめでたいのか?」と、聞きたくなることもあります。日本人は昔から新しい年が来るというだけでおめでたい事、ありがたい事として感謝して受け入れてきたからではないのでしょうか。1年に一度お正月くらいは物質的なことではなく、精神的なこととして元気に「おめでとう」とお互いに祝福し合うのも良いのではないのでしょうか。

さて、昨年は新棟がオープンし、改修工事及び外構工事が5月に終了、あつたかハートまつりの再開、垣田副院長が院長に就任し新体制がスタート、刈谷病院創立50周年記念パーティー開催等、様々な事業がありました。滞りなく終了した事に対し、ほっとすると共に職員の方々を初め各関係者の皆様へ深く感謝する次第です。中でも、創立50周年という節目の年に職員として周年行事に関わったことは大変光栄に思いましたし、次の75周年、100周年に向けてのスタートラインに居る事は、意味深い事であると考えています。一日一日の積み重ねではありますが、今やるべき事自分にやれる事を誠意をもって行い、堅実に進んでいけるよう精進したいと思います。

さて今年とは申しますと、2月にソチオリンピック開催、4月に消費税8%増税、6月にFIFAワールドカップブラジル大会開催、リニア中央新幹線工事着工、「あべのハルカス」(日本一の高層ビル・大阪) 開業、北陸新幹線区間(長野-金沢間) 開業等、様々な出来事があります。また、医療法人成精会に於きましては、5年毎の更新審査となります病院機能評価の受審、新しい人事考課制度のスタート、診療報酬改定等、多くの重要案件目白押しですが法人職員一丸となって取り組んでいき、ハード面、ソフト面共に質の高い医療を展開できれば地域の中核病院としてさらに期待される医療機関となるのではないのでしょうか。

病院機能評価は、「医療の質を見つめる第三者の目」と言われています。病院機能評価は病院が組織的に医療を提供する為の基本的な活動(機能)が適切に実施されているかどうか

事務長

岡 秀 宜



かを評価する仕組みです。評価調査者(サーベイヤー)が中立、公平な立場に立って所定の評価項目に沿って病院の活動状況の評価します。評価の結果、明らかになった課題に対し病院が改善に取り組むことで医療の質の向上が図られるとも言われています。また、病院の医療の質向上の為には安定した経営基盤が重要であるとも言われています。「選ばれる病院」になる為この機能評価を一つの手段として活用し、自院の強みと弱みを職員一人ひとりが確認し改善への道を探る場となればおのずと「医療の質の向上」に繋がると思います。現在、全国に約8,600病院がありますがその内の約3割(2,500病院)が認定病院となっています。今年は、病院機能評価受審を初め様々な課題に取り組みながら地域に密着した病院として地域連携をさらに推し進めていき、病棟再編への取り組み、優秀な人財の確保と職員満足度の向上、特にワークライフ・バランスの充実を目指して皆様と共に大切な一日一日を過ごしたいと思っております。どうぞ今年も一年間よろしくお願いいたします。

ゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療

当院の理念

- 1 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- 2 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- 3 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

当院の基本方針

- 1 病氣と治療に対する十分な説明と了解のもとに医療を実践します
- 2 精神科救急に積極的に取り組みます
- 3 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- 4 地域生活支援に積極的に取り組みます
- 5 地域の医療機関、行政、福祉施設等との連携に積極的に取り組みます
- 6 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- 7 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます

「A4病棟ってどんなところ？」

【A4病棟の紹介】

病床数は52床でその内個室が14床あり短期の休息入院患者さんに対応できるようにしています。アルコール病棟として運営していますが、入院患者さんの病名は認知症、統合失調症、うつ病、身体管理が必要な患者さんなど多種多様であります。入院、退院も多い病棟です。

アルコール看護はアルコールリハビリテーションプログラムを中心にしています。

刈谷病院の21年間に及ぶアルコール看護の伝統は、1人のアルコール患者さんに1人の担当看護師が深くかわり手厚く看護を行うことだと思います。伝統の良いところを受け継ぎより新しい医療を取り入れていきたいと思っています。そのために看護師は各市の自助グループに出席し、アルコールの研修にも積極的に参加しています。

アルコール家族教室や家族相談では家族の方の対応も行っています。いろいろな悩みや相談を受け付けています。また患者さん、家族だけでなく今年度はアルコール健康障害対策基本法に賛同し、地域にも啓蒙活動が出来ればと思っています。

アルコール看護は看護師だけでなく医師はもちろん薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士、栄養士などと協力し連携を密にして初めて良い医療が提供できると思っています。

今後も病院の理念でもあるゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療を念頭に入れ患者さんに関わっていきたいと思っています。



文責 鈴木 正仁 (看護師)

刈谷市障害者支援センター紹介

第2回

「シンフォニー」 の紹介



前号に引き続いて刈谷障害者支援センターの事業のうち、今回は多機能事業所シンフォニーについて紹介させていただきます。

多機能事業所シンフォニーは、一般就労に向けた訓練をおこなう就労移行支援事業アンダンティーノ【歩くより早く】、働くという社会参加の場を提供する就労継続支援B型事業アンダンテ【歩く早さで】、日常生活における家事等の訓練をおこなう自立訓練（生活訓練）レント【歩くよりゆっくり】の三事業から成り立っていて、定員はそれぞれ6名、15名、6名です。自立訓練の対象は知的、精神障害者ですが、就労移行支援、就労継続支援B型（以下、移行、B型とする）は障害種別を問いません。

サービス提供時間は月～金の午前9時30分から午後4時30分です。移行、B型の就労部門では、作業の一環として支援センター内で

「喫茶シンフォニー」を運営しており、出張所として刈谷病院の中で「カフェ・シンフォニア」を運営しています。喫茶・カフェともに各種ドリンクや日替わりランチを提供しています。注文を受ける、



飲食物の提供をする、レジ打ちなどの喫茶作業だけでなく、仕込みや食器洗いなどの調理作業もあります。

喫茶・調理作業のほかに、近隣の企業から請け負った作業（ゴム作業、印刷作業、パソコン作業など）もあります。センター内の花壇を利用し、花や野菜を育てる園芸作業もおこなっています。園芸作業で育てた野菜を日替わりランチで提供することもあります。作業内容はご本人のやりたいこと、適性に応じて決めさせていただきます。一般就労に向けた支援としては、ハローワークを活用しての求職活動や実習、企業見学、面接同行などを利用者個々の状況に応じておこなっています。

自立訓練では、生活をするうえで必要な洗濯、買い物、食事、入浴などの訓練をおこなっています。現在は個別でのかわりか中心ですが、余暇活動を含めた日々の生活を充実できるようなプログラムを現在検討中です。

開所して1年7ヶ月が経過しました。登録者数は移行3名、B型20名、自立訓練8名（平成25年11月末現在）と、徐々に増えてきました。一見すると定員数を超えているのでこれ以上利用できないような印象を与えてしまっていますが、登録者全員が毎日利用するわけではないので、定員にはまだまだ空きがあります。どうぞご利用ください。

また、支援センターや刈谷病院にお越しの際は、喫茶店、カフェで一息ついて行ってください。

文責：伊澤 紀明（シンフォニー 管理者）

「刈谷病院開院50周年記念式典」



平成25年11月9日、ホテルグランコート名古屋にて刈谷病院創立50周年記念パーティーを行いました。刈谷病院の波乱万丈の50年を振り返るには少々時間が足りなかったかもしれませんが、スライドや来賓、OBのみなさんの貴重なお話により、多くの人に支えられてきた刈谷病院の歴史を垣間見ることができた様に思います。お忙しい中、ご出席いただいたみなさんに感謝しつつ、これからの50年も患者さんやそのご家族、地域の方々に信頼される病院でありたいと決意を改めたパーティーとなりました。(文責 浜島)

カリヤ病院物語



作風：Qちゃん
注：このマンガはフィクションです。



編集後記

おけましておめでとうございます。昨年の今頃、この編集後記に「今年の目標を立てて〜」と書かせて頂きましたが、結局は個人的な目標を立てることを忘れ、あっという間に1年が終わってしまいました。なので、今年は早めに目標を立てるようにします。うま年の本年もハーモネットを通じて色々な情報をお伝えしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

(広報委員会 内藤 莉治)

カンタン vol.15 お手軽! 簡単レシピ



忙しい朝でも、簡単にバランスよく出来る! トーストレシピ! 今回は3種類ご紹介しします。

のせて焼くだけ! バランスOK!

野菜も食べよう

① ハムチーズマヨトースト [313kcal]



材料 (1人分)

- 食パン(6枚切り).....1枚
- スライスハム.....1枚
- マヨネーズ.....大さじ1
- とろけるチーズ.....1枚

作り方

- ① 食パンにハムをのせる。
 - ② マヨネーズをぬり、チーズをのせる。
 - ③ オープントースターで3分焼く。
- ※ 野菜スープなどと一緒どうぞ!

② ほうれん草ベーコントースト [332kcal]



材料 (1人分)

- 食パン(6枚切り).....1枚
- バター.....10g
- 冷凍ほうれん草.....15g
- ベーコンスライス.....1枚
- とろけるチーズ.....1枚
- 塩、こしょう.....少々

作り方

- ① 食パンにバターをぬり、解凍し水気を切ったほうれん草をのせる。
- ② 一口大に切ったベーコンを並べ、塩こしょうをする。
- ③ チーズをのせ、オープントースターで4分焼く。

③ キャベツ卵チーストースト [448kcal]



材料 (1人分)

- 食パン(6枚切り).....1枚
- キャベツ.....1枚
- 卵.....1個
- 塩、こしょう.....少々
- バター.....10g
- マヨネーズ.....大さじ1
- とろけるチーズ.....1枚

作り方

- ① 食パンにバターをぬりせん切りキャベツをのせる。
- ② とき卵を軽く卵め、上にのせる。
- ③ 塩こしょうをふり、マヨネーズをかける。
- ④ チーズを上のにせ、オープントースターで4分焼く。



ワンポイント

朝ごはんは、一日の活力源。生活習慣を整えるためにも、朝ごはんは食べたいもの! 簡単に作れる奥どくさんのパンです。チーズはカルシウムが豊富で、神経の興奮を静める効果があると言われていいます。簡単に作れて栄養満点なパンメニューをぜひお試しください!

※他にも家にある材料で自分のお気に入りのパンメニューを見つけてみるのも楽しいかも!

管理栄養士 大石 真琴

患者さんの権利

- 人間としての尊厳が認められる権利
- 平等に医療を受けられる権利
- 十分な説明を受け、知る権利

- 医療を選択し、自己決定する権利
- 治療スタッフを知る権利
- 個人情報の秘密が厳守される権利

患者さんの責任

- 治療上のルールを守り、治療に参加する責任
- 治療上で必要な情報を提供する責任
- 医療費を支払う責任

編集・発行



神経科・精神科
医療法人 成精会

刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30 TEL(0566)21-3511 FAX(0566)21-3536

http://www.kariya-hp.or.jp 携帯HP http://www.kariya-hp.or.jp/l/

●JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分 ●名鉄三河線刈谷駅南口下車 徒歩10分

